

都市教養プログラムにおける初回授業45分×2回の試行について

都市教養学部経営学系・教授
山下 英明

2010（平成 22）年度の都市教養プログラム初回授業において試行する「45×2」講義について説明した。

「45×2」講義は、前・後期の第 1 週目の授業において同一内容のイントロダクションを 2 回行うもので、学生が多様な都市教養プログラムの授業の中から履修選択を行ううえで、少しでも授業説明の機会を増やすことが目的である。教員が学生と向き合って直接授業概要を説明することにより、担当教員、教室の雰囲気、授業の内容など、シラバスだけではわからない情報を学生に伝えることができる。また、授業概要の説明だけではなく、完結した短い内容を教員が講義すれば、学生は講義の楽しさ、難しさなどを実感でき、履修選択のためのより有益な情報を得ることができる。「45×2」講義によって、学生はこのようなイントロダクションを従来よりも多数受講できるようになるので、適切な履修選択を行えるようになると期待できる。

質疑応答の時間に、「45×2」講義によって 1 回目の授業時間が半分に減少するというデメリットを指摘する意見がフロアから出されたが、都市プロは各コースが特定の科目を推奨している場合を除いて履修選択肢が非常に多いので、このデメリットより授業説明の機会が増えるメリットの方が大きいとの考えを示した。また、一部の学生が 45 分授業を 1 つだけ受講し、残りの 45 分は何もしないことを懸念する意見もあった。

他にも、中間の移動時間中に騒がしくなり他の授業に迷惑がかかること、履修人数が概ね確定するのが遅くなり教室変更に支障がでることなどのデメリットも想定されるので、2010 年度の試行結果を踏まえ、教員、学生の意見を参考にして、2011 年度以降正式に実施するかどうか、基礎教育部会、都市教養プログラム部会において審議する予定である。

なお、「45×2」講義の実施要項は下記の通りである。

記

1. 対象

都市プロのうち、担当教員が実施に賛同する授業。

2. 実施時期

2010 年度前期：4 月 8 日～14 日

2010 年度後期：10 月 1 日～7 日

3. 実施方法

おおむね 40 分の同一内容の講義（イントロダクション）を 2 回行う。

1 回目：授業時間開始後 0 分～40 分

2 回目：授業時間開始後 50 分～90 分

4. 学生への周知

教務課において、「45×2」講義を実施する授業一覧を作成し、掲示する。